

JAAM-SR-Basic と JAAM-SR-Advance の関係について

日本救急医学会 Sepsis Registry 特別委員会

JAAM-SR-Basic

収集する患者データはSurviving Sepsis Campaign Guideline (SSCG)における到達目標項目に一致します。現在世界各国が使用しているSociety of Critical Care Medicine (SCCM)が作成したデータベースシステムを特別委員会が日本語に翻訳したものを使用します。このシステムは本邦におけるsepsisの疫学調査と日本のsepsis診療レベルの国際的な位置づけを明らかにすることを目的としています。同時に、参加表明施設に登録結果が3ヶ月ごとに還元されますので、自施設のsepsis治療内容の経時的変化を確認することが可能となります。この症例登録システムを使用することによりSepsis症例の予後が変化することが報告されています (Crit Care Med 38: 367-374, 2010)。

この症例登録は1年を予定しており、日本救急医学会Sepsis Registry特別委員会施設および参加希望施設が参加可能です。日本救急医学会は2010年4月から参加希望施設を募集しています。

JAAM-SR-Advance

日本救急医学会Sepsis Registry特別委員会が独自に決定したsepsis診療に関連する項目を収集します。日本独自のsepsis registryシステムであり、JAAM-SR-Basicに加えてより詳細な本邦のsepsis診療の概要を明らかとして世界に発信することが可能となります。

この症例登録は1年を予定しており、日本救急医学会Sepsis Registry特別委員会施設のみで症例収集を行います。